

令和7年度自動運転バス実証事業の報告について

令和8年度第1回生活交通会議

都市整備部

資料 9

交通政策課

1 実証事業の経過

本市では、令和3年度に鳥取市次世代モビリティ推進会議を立ち上げ、鳥取砂丘周辺エリアで自動運転バスの実証運行を実施。令和5年度からは市街地エリアで実証運行を行い、令和7年度においては、より社会実装に近い環境下での実証運行を行い、自動運転レベル4に向けた課題把握や事業継続性等について検証しました。

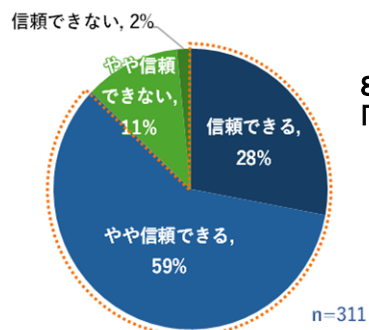
2 実証運行の結果

- 実証期間 令和7年12月12日～17日
- 運行便数 42便(試乗便:7便×6日)
- 試乗人数 412人(9.8人/便)

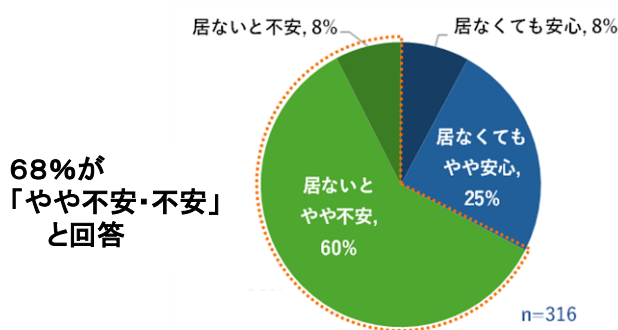
◆自動運転率(試乗走行した総距離のうち、運転手が手動介入せずに自動運転で走行できた距離の割合)
令和7年度 95.9%(路上駐車追い越し機能など自動運転システム全体の向上)
令和6年度 95.3%(左折中心ルートに変更)
令和5年度 80.2%

◆試乗者アンケート結果

Q「乗車してみて自動運転技術は信頼できると思いましたか」



Q「自動運転バスに運転手がない場合、利用する際の安心感はどう変わりますか」



3 今後の取組方針

- 技術面では無人走行が可能な段階に近づいていますが、事業継続には、採算性(ビジネスモデルの構築)が大きな課題となっています。このため、令和8年度は実証運行を行わず、国の動向や他自治体の取組状況を調査し、鳥取市次世代モビリティ推進会議(会長:日ノ丸自動車(株)常務取締役)において、事業性や生活交通の維持に向けた自動運転技術の活用策について協議していきます。
- また、自動運転レベル4(無人走行)による旅客運送は、交通事業者が特別な認可を取得する必要があるため、事業実施体制の構築や実現可能な車両・路線の選定、最適な導入時期などについて、中長期的な視点から交通事業者と議論を深めていきます。

◆運行計画

- ・運行路線: 下図のとおり
 - ・走行距離: ルート4.7km
 - ・所要時間: 約25分
 - ・自動運転レベル: レベル2
(使用車両はレベル4相当)
- ※原則自動運転にて走行し、必要に応じて手動操作による運行を実施。



実証運行の様子